



環境リーダーNews

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会「会報」
<https://kankyo-leader.org/>

2026 1/28
 Vol. 133
 季刊発行 冬号

■ 特集(4面) : 私のリーダー会 今昔物語



撮影:岡田佳男

環境科学センターにて 環境活動を2件講演

代表理事 吉岡嗣二郎

■環境科学センター「業績発表会」

「令和7年度神奈川県環境科学センター業績発表会」が10月24日(金)午後、オンラインにより開催されました。この発表会は、毎年度開催されており、同センターの調査研究、環境監視、環境学習などの成果を県民の皆様に広く知っていただくために開催されています。今回の報告会では調査研究部や環境情報部から4件について発表があり、最後に当会から「環境学習リーダー養成講座からの発展」と題した発表を行いました。当会は、同センターの「環境学習リーダー養成講座」を修得したメンバーにより設立されたことから、同センター業績の一環として発表しました。発表は、当会の環境活動コンセプトや子ども向け環境学習の展開を主体に活動内容を報告しました。報告内容は、はまぎんこども宇宙科学館の洋光台サイエンスクラブで実施している環境体験教室について、植物ジュニアレンジャー講座や温暖化対策などの体験教室の授業内容を画像も交えて報告しました。当日のオンライン参加者は36名でした。



植物ジュニアレンジャー講座

■環境科学センター「環境学習リーダー養成講座」

「令和7年度環境学習リーダー養成講座」が、10月7日(火)から5日間にわたってオンラインにて開催されました。この講座は、地域の環境活動指導者を目指している方、企業のCSR担当者、環境に興味のある方などを対象に神奈川県環境科学センターが毎年度開催しています。この講座の中で当会は、10月31日(金)午後、「環境学習の進め方について」と題した講座の講師を務めました。講座の内容は「環境学習とは何か」、「環境学習の事例」、「環境学習を進める上での注意点」などについて講演しました。講演内容は、環境体験教室に取り組む基本事項、環境教育の法律など。当会の環境体験教室の例として植物ジュニアレンジャー講座や温暖化対策を学ぶ体験教室を紹介。また、環境体験教室の授業プロセスで必要な計画書、報告書、様式の用い方や注意事項など実例を挙げて詳しく説明しました。最後に、環境体験教室の重要性、子どもたちは遊びを通して能力を身につけることなどを解説しました。



地球温暖化対策を学ぶ体験教室



①海洋プラスチックを入れて作った万華鏡



⑤水を電気分解して水素と酸素ができた



⑧赤・緑・青 LED を使って光の三原色実験



③赤外線について学び、電子回路を工作



④種の不思議、どんぐりのお話を聞きました



⑨もうすぐお正月、ミニ門松を作りました

はまぎんこども宇宙科学館の「洋光台サイエンスクラブ」では、10月から12月の3ヶ月間に9教室を4名の講師により開催(下表)されました。その概要を報告します。詳しい授業内容はホームページに掲載しています。下部 QRコードからホームページにてご覧ください。

■**石原講師:**①「海洋プラスチックで万華鏡」教室は、光の屈折を学び、紙筒と鏡で万華鏡を作つて、海岸で採取したプラスチックの模様を楽しみました。プラスチックの海洋汚染も知りました。⑥「ストームグラスと天気の不思議」教室では、天気の温度、湿度、気圧などについて理解した後、樟脳やエタノールの溶液でストームグラスを作り、グラスの中に雪のような結晶ができました。

■**長村講師:**②「ホバークラフト」教室は、空気の性質を実験で学んだ後、厚紙でホバークラフトを作つて、滑空実験を楽しみました。⑤「水の電気分解」教室では、水を電気分解して水素と酸素ができると、その逆反応で水素から電気を作ることができることを実験で確かめました。③「LEDで光の三原色」教室は、プリズムで光の性質を学び、赤、緑、青の LED とリチウムコイン電池を使って、光をませる実験などを楽しみました。

■**深田講師:**③「電子回路工作、赤外線」教室は、今年度新たに開発した教室です。赤外線の性質について学び、TVリモコンの赤外線波形測定など行った後、赤外線 LED を使つた送受信回路を組み立て、子ども同士で送受信を楽しみました。また、電気の映像化に子どもたちは興味津々でした。

■**吉岡講師:**「植物レンジャー講座」は3教室を開催。④「不思議な種の世界」教室は、植物が繁殖するための種について学び、冬場の植物を観察して種の工夫や不思議さを楽しみました。折り紙でエガデの種の模型を作りました。

⑦「植物と行事のつながり」教室では、行事と植物にはどんな関係があるかをテーマに植物を観察し、秋の七草などについて理解を深めました。⑨「伝統植物と門松作り」教室は、伝統行事(正月)に利用される植物と人のかかわりを理解する授業。隣接公園にて正月に利用する植物を観察した後、「ミニ門松づくり」を行いました。観察体験を発表し、3名の植物レンジャーが認定されました。 [ホームページ↗](#)



開催日(曜)	教室名 称	講師名前
10月4(土)	①海洋プラスチックで万華鏡を作ろう (親子教室)	石原靖文
10月19日(日)	②ホバークラフトを作つて走らせてみよう (親子教室)	長村吉洋
10月25日(土)	③電子回路工作(2)「赤外線で通信しよう」	深田隆文
11月1日(土)	④めざせ植物ジュニアレンジャー(6) 「ふしきな、不思議な種の世界」	吉岡嗣二郎
11月2日(日)	⑤水の電気分解と燃料電池実験(親子教室)	長村吉洋
11月15日(土)	⑥ストームグラスと天気の不思議(親子教室)	石原靖文
11月22日(土)	⑦めざせ植物ジュニアレンジャー(7) 「植物と行事のつながり」	吉岡嗣二郎
12月7日(日)	⑧LEDを使って光の三原色を学ぼう (親子教室)	長村吉洋
12月14日(日)	⑨めざせ植物ジュニアレンジャー特別講座 「伝統植物と門松を作ろう」	吉岡嗣二郎

新会員紹介

Welcome New Face

“自然を守る” 未来に生きる子ども達へ希望をよせて

私が山を好きになったのは、大学の部活(野外活動やボランティア活動をする部活)で山歩きをしてからです。登っている時は苦しくてどうして、こんな苦しい思いをしに来きたのかな、などと思うこともあるけれど、登頂した時の充実感と素晴らしい風景を見ると全部忘れてしまいます。初めて登った八ヶ岳の山肌を染める夕日が忘れられません。色々な山があり、その魅力は多種多様、山は人生そのものかな、と思ってしまいます。

山に登らなければ見られない風景、それは別世界。自分の足で一歩一歩進まなければ出会えない世界。やさしい花々、鳥の囀り、季節によって多彩な表情に変わる。時には天候が崩れ、自然の厳しい面を見せつけられる。だからこそ人間も、自然の中で生かされている事を実感させられるのです。

日本には四季があり、その折々の美しい風景を見せてくれます。しかし、今その四季にさえ変化がみられています。だからこそ、この美しい風景を守っていくためにも未来を担う子どもたちへの環境教育が大切だと考えるようになりました。そこで出会ったのが夏休みに行われた、環境学習リーダー会の講座でした。雲のでき方、植物の観察、手作りの顕微鏡をつくり植物の細胞を観察するなど、体験を通して自然の仕組みを学ぶ学習の中で、興味をもって取り組む子どもたちの姿が印象的でした。一つの授業を創るために皆さんが真剣に取り組んでいる姿にも感心させられ、私もお手伝いできたらと思いました。



前原 泉

PROFILE

出身地:神奈川県

現住所:横浜市

趣味:山行とスケッチ

所属:生物部会

エネルギー部会

KISTECなるほど！体験出前教室 太陽の光で回るソーラー風車を作ろう

エネルギー部会 三田重雄

11月11日(火)、横須賀市立小学校の科学クラブ18名を対象に、ソーラー風車を作る体験教室を実施しました。実施の狙い「子どもたちに理科に対する興味・関心を高めることや普段できない体験をすること」を念頭に、普段実施している2時間のプログラムを、ソーラー風車の工作と原型の太陽熱発電に紐づけた発電体験を重点に45分間に短縮して実施しました。授業では資料の主要部のみを説明し、自宅での学習をお願いしました。工作では部品加工と作品を完成させる達成感を味わえるように集熱筒の加工と全体組み立てを行い、電球光を使って光で風車を回せることを確認しました。ふりふり発電機と乾電池、手回し発電機を使った発電体験などを楽しみ、大賑わいで終えました。



授業に準備した工作材料

環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～ 実験・ゲームで学ぼう！温暖化対策

エネルギー部会長 鈴木勝男

12月15日(月)、平塚市立小学校の4年生2クラス64名を対象に、温暖化対策の体験教室を実施しました。最初にビデオ「地球温暖化ってなんだろう？」を視聴し、地球温暖化のしくみと原因、省エネの大切さを学んだ後、電気の仕事、手回し発電機で40W電球つかな、電球消費電力くらべなど4実験により、いろいろな省エネの方法を体験しました。更に、ゲーム「暮らし方の違いさがし」で身の回りの省エネ項目を見つけ出しました。その後、省エネチェックシートを使用して自分でできる省エネ目標を決め、省エネカレンダーに記入しました。省エネカレンダーには、今後約1ヶ月間、目標の達成状況を毎日記録してもらい、その結果を集計・評価します。



ゲーム「暮らし方の違い探し」

Leaders TOPICS

私のリーダー会 今昔物語

生物部会 日下部雅省



■そもそもの始まりは

11月の生物部会の例会で、広報担当の岡田さんから原稿依頼を受けました。帰宅し過去の「リーダーズトピックス」を見て、格調高いメンバーが、格調高い内容の原稿を投稿して居ることを再確認しました。

私は、博士でも学者でもありません。ただ、会社のため、組織の為、ラインの最先端で沢山の客を抱え、沢山の予算を抱え、沢山の下請けを使って第一線で動いていただけの人間で、中身はありません。

その中で、ある事故のためテレビに登場させられたり、昭和天皇がらみの仕事を仕方なく請け負ったり、通常国会のスケジュールに合わせすべく法律改正の原案作りの為5か月ほど帰宅もままならない強烈な仕事をさせられたり等、多くの武勇伝を経験してきました。

67歳の時、退職手続きをしに本社に行ったとき、会社の広報部から「日下部さんは現場が長かったし、営業では神奈川県の担当もしていたので、県の温暖化防止の推進員になってほしいのです。そして、会社に県や他社の情報をいただけとありがたいのですが」の一言がありました。これが何となく推進員に、そしてリーダー会に入会したそもそもの切っ掛けになったのです。

■自然に流されて

昭和45年ころ、大気汚染防止法、水質汚濁防止法が初めて公害対策の法律として制定された直後、長い工場生活から営業に回されました。環境にやさしい商品を販売する営業マンとしてスタートしたのです。販売したい商品は、値段が他品目に比べてかなり高い商品でしたが、時期が良く、かなりの成果を上げることが出来ました。



洋光台サイエンスクラブの子どもたちと筆者

そしてまた、この定例部会で使用している県民センタ一も、あの洋光台の地も深く仕事でかかわった場所でしたから思い出もあり、第2の人生として歩もうとしていた私にとってリーダー会は極めて適切な場所だったような気がしています。

■こんな話があったので紹介します

1年くらい前のこと。私の家の近所の母子が吉岡塾に参加しました。2~3回来たと思います。バッチを受け取るレベルではありません。その一家が先日、転居の挨拶に我が家に来られました。その時、母親が「この子、最近、環境問題に興味を持ったらしく、将来その方向を目指して勉強したいと言っているんです」とだけ言ってお帰りになりました。

吉岡チームの話を聞いて感動して決心したわけではないと思いますが、母親の圧力でそうなった訳でもなさそうです。こんな話を一つ聞くと嬉しいものです。皆さんとともに喜びたいと思います。

私達は長い時間をかけて沢山の子どもたちと触れ合ってきました。最初に接した子どもは、今何歳位になっているのでしょうか。10年、15年前のお兄さん、お姉さん達の「進路や趣味の持ち方」など知りたい所です。先輩のこうした調査結果でもあれば、毎回実施しているアンケートのデーターとともに我々の進めたい学習の方向付けを、精度よく教えてもらえるのではないかと思うのですが難しそうですね。

■着地はスムーズに

私が所属している「遊びの会」の会長は、40歳後半の脂の乗り切った小学校の教諭です。彼は私に、こんなことを言いました。「日下部さんは環境面で、とても良いことをされていますね。」(私達は子どもたちに教える努力をしているのではなく、子どもたちが何かを感じてもらえるような話を進めているだけです)「日下部さんの活動は、オレたちの理想の教育なんです。でも、オレ達にはとてもできません。あまりにも時間と人間、そして場所が足りないからです。」

彼のこの言葉を聞いて、我々の今やっている仕事、方向は間違っていない。と納得しながら毎月、毎月、洋光台で頑張っている次第です。

環境活動案内 2026年2月～4月

■教室イベント情報	月日(曜)	開催時間	開催場所	開催担当
■ペットボトルキャップから自分だけのストラップを作ってみよう(親子教室)	2月8日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■めざせ植物ジュニアレンジャー(9)植物春待ちウォッキング	2月15日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■レモン電池でオルゴールを鳴らしてみよう(親子教室)	2月22日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■めざせ植物ジュニアレンジャー(1)身近な春の植物たち	4月11日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■「花だんご」を作つて花を育てよう(親子教室)	4月18日(土)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会
■「動物かくれんぼ」ミニこいのぼりで保護色実験	4月19日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	生物部会
■植物ジュニアレンジャー活動(1)温暖化と植物	4月25日(土)	10:00～12:00	保土谷公園	生物部会
■あらしの音がするスプリングドラムとレインスティックを作つてみよう(親子教室)	4月26日(日)	10:00～12:00	はまぎん こども宇宙科学館	水・大気部会

●定例部会情報	開催月日(曜)	開催時間	開催場所	部会長
●生物部会	2月18日(水) 3月18日(水) 4月15日(水)	15:00～16:30	県民センター10階 ボランティアサロン	吉田和史
●エネルギー部会	2月25日(水) 3月25日(水) 4月22日(水)	勉強会 15:00～ 定例会 16:00～17:00	会議室(西区福祉保健活動拠点・フクシア) or オンライン会議	鈴木勝男 (桑原 清)
●水・大気部会	適宜	適時	部会マーリング	吉岡嗣二郎

「生成AI」の利活用、会報の編集でも

広報部長 小林信雄

毎日、マスメディアで報道されている「生成AI」、この急速な普及には目を見張るばかりです。少しずつ身近に感じられるようになってきましたが、このシステムはとてつもなく膨大で、かつ急速に人間社会に飛び込んできています。「生成AI」は便利に利活用できることは勿論ですが、その反面、「生成AI」による偽情報の氾濫が世界的に問題視され、その氾濫抑制方策も論じられています。

さて、当会のこの会報の編集にも「生成AI」を活用されています。当会の多くの環境活動の成果情報は講師陣か

ら報告を受けてホームページに掲載しています。この情報は当会の活動内容を発信する貴重で重要な情報です。これらの情報を「会報」には、紙面の都合で十分に掲載しきれませんので、ホームページ掲載文章を短縮編集して掲載されています。この文章編集に「生成AI」を活用されており、文章の校正にも利用されています。

現在の「生成AI」の利活用はこの程度ですが、今後はホームページの構成や編集、会報への効果的な利活用の方策を模索・検討していきたいと考えております。

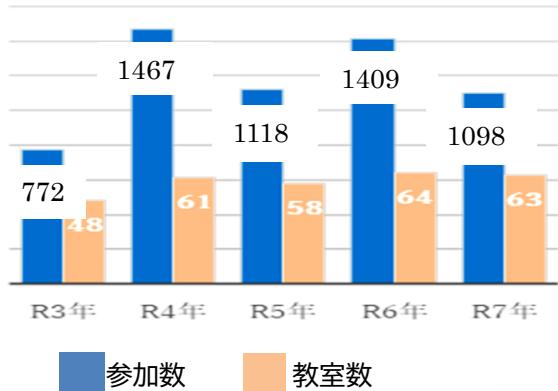
環境活動への参加 お願い

広報担当 岡田佳男

環境学習リーダー会が昨年開催した環境体験教室は合計63回、延べ参加人数1,098名を数えました。この教室に参加した会員の延べ人数は313名でした。今年も1月に4教室、2月~4月にかけて8教室が予定されており、4月からは45教室が計画されています。

この体験教室は、限られた活動会員の力に支えられているのが実情です。当会には多くの会員が在籍しています。「最近は参加できていない」、「忙しくてきっかけがない」そんな会員の皆さんも、まずは見学だけでも参加大歓迎です。私たちの環境体験教室は、子どもたちに自然の大切さと向き合う機会を届ける活動です。この活動は継続することが重要です。会員の皆さん一人ひとりの参加が、活動の幅を広げ、子どもたちの学びをより豊かなものにします。環境活動に参加していない方は、是非、参加してくださるようお願いします。

開催数と参加者



STAFF募集



子どもたちへの環境体験教室、工作・実験、自然観察などの講師やスタッフ活動に興味がある方、未経験でも大歓迎です。

- 特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 「会報第133号」 2026年1月28日 (水) 発行
- 発行者：代表理事 吉岡嗣二郎 広報部長 小林信雄 編集 岡田佳男
- 所在地：〒226-0005 横浜市緑区竹山三丁目2番地4 竹山3201-134
- Web : <https://kankyo-leader.org/> ・ご連絡、お問合せ E-Mail : npo.k.leader@kela1993.org
- ◆ 寄付・会費等納入口座：ゆうちょ銀行00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会
横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号383-3286964 口座名義 特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会
- ★ ©不許複製：神奈川県環境学習リーダー会



事務局だより 中村富士男

■ 理事会の開催予定

- ・2月13日(金)「かながわ県民センター」、708会議室
- ・3月13日(金)「かながわ県民センター」、302会議室
- ・4月10日(金)「かながわ県民センター」、710会議室
- ・時間はいずれも 14:30~16:00

■ 編集後記 ■

オーストラリアの人口統計学者マーク・マクリンドル氏は α 世代の命名者である。 α 世代は2010~24年に生まれた若者であり、20億人と言う史上最多の世代を指す。世界人口がピーク(80年代に103億人)に向かう時代をけん引しその頂を見る。また初めて世界規模で人が減るピークアウトも知る。産業革命以降、膨張し続けた都市や資本市場の転換点を生きることになる。

氏は2005年、ミレニアル世代の子世代を α 世代と呼ぶことを提唱した。全員が21世紀生まれ。物心つく頃には身近にiPhoneとSNSがあった人々だ。 α 世代が実際に誕生する前から注目し、研究を続けている。氏は「 α 世代はAIやSNSと育つ真のデジタル世代だ。経済でも政治でも新時代をリードする役割を担う。過去の数世代より人類史に桁外れの影響力を持つ」と言う。人口増と技術革新が相まって、国際秩序から各国の社会保障まで既存のシステムは過去のものとなる。 α 世代は新たな世界で人類の基盤を再構築する役割を担うと予想されている。

私たち神奈川県環境学習リーダー会が開催している体験教室は、まさにこの α 世代の子供たちを対象にしています。新時代を担うこの α 世代に、幾ばくかの環境を中心とした良質な影響を与えることができたのであれば、これほど楽しい夢はないでしょう。

丙午元旦の初夢として

岡田佳男

(参照 2026年1月1日付、4日付 日本経済新聞)